

平成 26 年 9 月 29 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹
(コード番号 : 8303 東証第一部)

山口県光市におけるメガソーラー事業向けプロジェクトファイナンスの組成について

当行は、リベラ株式会社(広島県呉市、代表取締役社長 隅田耕次、以下「リベラ」)などが出資する合同会社が山口県光市に建設する、発電容量合計約 20 メガワットの大規模太陽光発電所(メガソーラー)に対するプロジェクトファイナンスを組成し、係る融資関連契約を平成 26 年 9 月 26 日に締結いたしました。

このプロジェクトファイナンスは、当行がシンジケートローンとしてアレンジし、当行、株式会社もみじ銀行(広島県広島市、代表取締役頭取 野坂文雄)、株式会社西京銀行(山口県周南市、取締役頭取 平岡英雄)および株式会社山陰合同銀行(島根県松江市、取締役頭取 久保田 一郎)が参加、建設にかかる費用のうち総額約 64 億円を融資するものです。

本事業は、外航海運事業や国内フェリー業を主事業とするリベラが実施するメガソーラー事業で、他社と共同で発電事業者となる合同会社を設立、瀬戸内海に面した山口県光市の約 39 ヘクタールの用地を活用して、平成 29 年 1 月の運転開始を目指します。当行は、メガソーラー事業におけるプロジェクトファイナンスの実績を活かし、アレन्ジャー(主幹事)兼エージェント(貸付事務代理人)として、地域金融機関が参加するメガソーラー事業向けシンジケートローンを組成いたしました。なお、本事業における土地の大半は、新生銀行の 100%子会社、新生信託銀行株式会社(東京都中央区、代表取締役社長 後藤武彦)が不動産管理信託として受託します。

新生銀行グループでは、第二次中期経営計画における法人向け業務戦略の一環として、再生可能エネルギー事業を重点分野の一つと定め、グループ会社の専門性を活用しつつ、これまでに多数のメガソーラー事業案件に対するファイナンスを組成してまいりました。当行では、再生可能エネルギー事業は、エネルギーの地産地消の推進にもつながることから、今後とも、地域金融機関との連携をさらに強化し、地域活性化につながるプロジェクトを支援してまいります。

【プロジェクトの概要】

事業名称 : 山口県光市メガソーラー事業
発電容量 : 約 19.5 メガワット
事業主体 : 光エナジー合同会社
スポンサー : リベラ株式会社ほか
商業運転開始 : 平成 29 年 1 月予定

※本格稼働後、発電する電力は、平成 24 年 7 月に施行された「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づく電力受給契約により、20 年間にわたって全量を固定価格にて中国電力株式会社に売電。

【リベラ株式会社の概要】

名称 : リベラ株式会社
代表者 : 代表取締役社長 隅田 耕次
本社所在地 : 広島県呉市中央一丁目 4 番 24 号 リベラビル
資本金 : 1 億円(平成 25 年 12 月 31 日現在)

【シンジケートローンの概要】

貸入人 : 光エナジー合同会社
契約金額 : 総額 約 64 億円
契約締結日 : 平成 26 年 9 月 26 日
アレन्ジャー(主幹事)兼
エージェント(貸付代理人) : 株式会社新生銀行
参加銀行 : 株式会社もみじ銀行、株式会社西京銀行、株式会社山陰合同銀行

以 上